

# 日本内分泌学会認定内分泌代謝科(産婦人科)専門医 研修カリキュラム

## 研修内容

産婦人科専門医取得後、疾患の的確な診断、治療と患者の指導が行えることを目標とする。そのために、3年間に具体的に経験し、診断・治療手技を習得すべき疾患の目標として、以下の項目を設定する。

産婦人科内分泌代謝科専門医申請において要求されている診療実績表に基づき、以下の疾患で合計15例以上を経験し、その治療、管理が行えること。

視床下部

Kallmann 症候群、神経性食欲不振症、視床下部性低ゴナドトロピン性性腺機能低下症

下垂体

高プロラクチン血症、汎下垂体機能低下症（Sheehan 症候群を含む）

卵巢

性腺形成不全症、Turner 症候群、早発閉経、多嚢胞性卵巢症候群(PCOS)

性分化異常症・子宮

Rokitansky-Kustner-Hauser 症候群、アンドロゲン不応症、子宮内膜症

思春期

早発症、遅発症

更年期関連疾患

更年期障害、骨粗鬆症、脂質異常症

妊娠合併症

習慣流産、糖代謝異常、甲状腺機能低下症、甲状腺機能亢進症、高血圧

## 研修計画

### (1 - 2年目)

病棟診療が中心。

Rokitansky-Kustner-Hauser 症候群の管理、アンドロゲン不応症の管理。

子宮内膜症の診断と治療

思春期早発症、性腺機能低下症の診断。

妊娠合併甲状腺機能低下症、甲状腺機能亢進症の診断および初期治療。

妊娠合併高血圧症の診断（二次性高血圧も含む）および初期治療

糖尿病合併妊娠の診断と初期治療および慢性期のコントロールのための入院治療など。

日本小児内分泌学会や日本内分泌学会への積極的な出席。

### (3年目)

外来診療研修。

思春期早発症、性腺機能低下症の外来治療。

単純体重減少症、神経性食欲不振症の管理

Turner 症候群の外来治療

早発閉経、PCO の外来治療

子宮内膜の評価、子宮内膜症の治療

更年期障害の治療

症例報告あるいは臨床研究を行い、日本産婦人科学会、日本内分泌学会などで発表および論文発表を行う。

## 研修カリキュラム

このカリキュラムは、日本内分泌学会認定産婦人科専門医となるための研修内容の一つであり、そのための達成目標となるものである。

また、このカリキュラムは日本産科婦人科専門医制度研修カリキュラムを達成していることを前提とする。

1. 達成目標は次表のように、A、B、Cの3段階に分ける。

達成目標	.知識	.診察	.専門的検査	.治療・症例経験
A	良く理解している	一人で所見がとれる	一人でできる	原則として、担当医として受け持つ
B	概略を理解している	指導を受けて所見がとれる	指導医の助言のもとにできる	指導医のもとに経験する
C			見学などで理解している	見学などで概略の知識を有する

## 2. 達成すべき項目

### .知識

#### 1. 主要症候

動悸、頭痛、視力障害、過食、無月経、肥満、高血糖、高血圧、やせ、低身長、高身長、多毛、満月様顔貌、多飲、多尿、色素沈着、甲状腺腫、性早熟徴候、外性器異常、二次性徴の遅延

A

### .診察

上記1. 主要症候の診察による把握・記載

A

### .専門的検査

#### 1. 内分泌代謝機能検査法

##### 1) 視床下部・下垂体前葉機能

a. 血中下垂体ホルモン（基礎値・日内変動）

A

b. TRH 試験、LHRH 試験

A

##### 2) 甲状腺機能検査

a. 血中甲状腺ホルモン

A

b. 甲状腺自己抗体

A

##### 3) 膵内分泌機能

a. 血中インスリン、血中、尿中C-ペプチド

A

b. ブドウ糖負荷試験

A

##### 4) 副腎機能

a. 皮質：アルドステロン、血漿レニン活性、コルチゾール、

A

b. 髄質：ノルアドレナリン、アドレナリン

A

##### 5) 性腺機能

血中卵巣ホルモン・精巣ホルモン

A

##### 6) 骨の評価

a. 骨年齢

A

b. 骨密度

B

c. 骨代謝マーカー

B

2. 内分泌器官・生殖器の画像診断の解釈  
エコー、MRI、CT、シンチグラフィ A

・治療

- 1. ホルモンの欠乏・作用低下
  - 1) ホルモン補充療法 A
  - 2) ホルモン分泌促進薬 B
  - 3) ホルモン作用改善薬 B
  - 4) 更年期障害の治療 B
- 2. ホルモン過剰症の薬物療法 A
- 3. 糖尿病及び肥満症患者の食事・運動療法 A
- 4. 高血圧の原因とその治療法 A

・症例

- 1. 視床下部・下垂体疾患
  - 1) 中枢性摂食異常症（神経性食欲不振症など） A
  - 2) 下垂体前葉機能亢進症
    - a. プロラクチノーマ A
    - b. Cushing 病 B
  - 3) 下垂体前葉機能低下症
    - a. 汎下垂体機能低下症 A
  - 4) 下垂体後葉疾患
    - a. 尿崩症 A
- 2. 母体の甲状腺疾患
  - 1) 甲状腺機能亢進症、甲状腺中毒症
    - a. Basedow 病 A
    - b. 亜急性甲状腺炎・無痛性甲状腺炎 B
  - 2) 甲状腺機能低下症
    - a. 先天性甲状腺機能低下症 A  
（クレチン症、甲状腺ホルモン不応症等）
    - b. 慢性甲状腺炎（橋本病） A
- 3. カルシウム、骨代謝異常
  - 骨粗鬆症
    - a. 閉経後骨粗鬆症 B
    - b. 二次性骨粗鬆症 B
- 4. 糖代謝異常妊娠
  - 1) 妊娠糖尿病 A
  - 2) 1型糖尿病 A
  - 3) 2型糖尿病 A
- 5. 肥満症
  - 1) 単純性肥満症 A
  - 2) 症候性肥満症 A
- 6. 脂質異常症 B

7. 更年期障害	A
8. 成長障害と思春期発来異常	
1) 低身長症	A
2) 思春期早発症	A
3) 思春期遅発症	A
9. 性腺疾患	
1) Turner 症候群	A
2) Klinefelter 症候群	B
3) 多嚢胞性卵巣 (PCO) 症候群	A
4) 男性仮性半陰陽 (アンドロゲン不応症を含む)	A
5) 女性仮性半陰陽	A
. 医療倫理・安全・EBM に関する研修	
1. 医療倫理に関する研修	A
2. 医療安全に関する研修	A
3. EBM の実施	A
4. ガイドラインに関する研修	A

#### 研修目標の達成度の評価

達成目標と評価は日本内分泌学会認定内分泌代謝科専門医研修カリキュラムに基づいて認定指導医によって評価する。

自己及び指導医評価表のチェック欄にランク (A,B,C) を入れる。 別表参照

- A. 目標に達した。
- B. ほぼ目標に達した。
- C. 更に努力を要す。